

平成28年度 研究・調査企画会議 事前・中間評価部会（第6回）
議事概要

1 日時：平成28年12月14日（水）10：00～12：00

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（8名）

圓藤 陽子（圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長）

尾崎 博（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長）

村田 勝敬（秋田大学大学院医学系研究科教授）

佐藤 洋（食品安全委員会 委員長）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

◎熊谷 進（食品安全委員会 委員）

吉田 緑（食品安全委員会 委員）

（◎：座長）

その他、事務局から川島事務局長ほか9名が出席

4 議事概要

（1）平成29年度食品健康影響評価技術研究課題の選定に係る事前評価（ヒアリング審査）対象課題の選定について

○ 平成29年度食品健康影響評価技術研究公募要領に基づき応募された36課題について、研究・調査企画会議事前・中間評価部会構成員が事前に行った書面審査の結果を基に審議を行った。

○ その結果、以下の11課題について、次回の事前・中間評価部会においてヒアリング審査を実施することが了承された。

【ヒアリング審査対象課題】

受付番号：1、2、4、7、14、16、18、23、30、31、33

（2）平成29年度食品安全確保総合調査課題（案）について

○ 事務局から平成29年度に実施予定の食品安全確保総合調査課題（案）4課題を提示し、審議を行った。

○ その結果、4課題の実施について了承され、今後、事務局で各課題の仕様書（案）等を作成し、事前・中間評価部会の審議を経て実施することとなった。

（3）平成28年度終了予定食品健康影響評価技術研究課題（課題番号：1301、1501、1504、1505、1506、1507）の進捗状況の報告

○ 事務局から、本年度終了予定の以下の6課題について、平成28年10月末現

在の研究の進捗状況を報告した。

<平成28年度終了予定研究課題>

1301: ヒト型遺伝子改変マウスを用いた非定型 BSE の人に対する感染リスクの定量的評価 (松浦裕一 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門))

1501: 農薬の毒性評価における「毒性プロファイル」と「毒性発現量」の種差を考慮した毒性試験の新たな段階的評価手法の提言—イヌ慢性毒性試験とマウス発がん性試験の必要性について— (小野敦 (国立医薬品食品衛生研究所))

1504: 家畜とヒトとの間における薬剤耐性菌の循環に関する分子疫学および時空間比較ゲノム解析 (荒川宜親 (名古屋大学))

1505: 食品に対する乳児期のアレルギー性反応獲得メカニズムと発症リスク評価 (木戸博 (徳島大学))

1506: 食品ごとの「IgE 抗体の作らせやすさ」を測定する系の樹立に関する研究 (斎藤博久 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター))

1507: 食品由来のアクリルアミド摂取量の推定に関する研究 (河原純子 (国立研究開発法人国立環境研究所))

(2) その他

○ 事務局から、今後の事前・中間評価部会の開催スケジュールについて説明した。

—以上—

(注: 本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)